

四半期報告書

(第40期第3四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年12月31日

株式会社 **マイスターエンジニアリング**

千葉県美浜区中瀬一丁目3番地

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第40期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社マイスターエンジニアリング
【英訳名】	MYSTAR ENGINEERING CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 菊地 幸雄
【本店の所在の場所】	千葉県美浜区中瀬一丁目3番地 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区西五反田七丁目19番1号（東京本社）
【電話番号】	03（5487）8211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 鈴木 利雄
【縦覧に供する場所】	株式会社マイスターエンジニアリング 東京本社 （東京都品川区西五反田七丁目19番1号） 株式会社マイスターエンジニアリング 大阪本社 （大阪市北区大淀南一丁目11番8号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期連結 累計期間	第40期 第3四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	11,772,587	12,569,988	16,299,917
経常利益（千円）	445,369	463,635	602,112
四半期（当期）純利益（千円）	185,504	232,700	265,064
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	203,061	277,022	293,471
純資産額（千円）	6,626,153	6,651,047	6,495,163
総資産額（千円）	9,719,173	9,635,302	10,130,210
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	20.34	26.84	29.19
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	67.0	67.7	63.0

回次	第39期 第3四半期連結 会計期間	第40期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 （円）	11.95	12.83

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料価格の上昇や来年度からの消費税増税による消費マインド減退への懸念等、先行き不透明な状況は続くものの、政府の経済対策などの効果により円安・株高が進み、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の回復が見られるなど、景気は緩やかな回復傾向にあります。

このような状況の下、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況にありますが、メカトロ関連事業におきましては、多種多様な業界のお客様が保有する産業インフラで抱える様々な問題に対して、スピーディかつタイムリーに最適な提案と実践を提供しました。ファシリティ関連事業におきましては、基幹業務のビルマネジメント業務に、省エネルギー、創エネルギー、蓄エネルギーなどのエネルギーマネジメント業務を融合し、都市インフラに必要な技術サービスをワンストップで提供しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,569百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は467百万円（同14.3%増）、経常利益は463百万円（同4.1%増）、四半期純利益は232百万円（同25.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

メカトロ関連事業におきましては、検査装置の製造を中心とするエンジニアリング業務が堅調に推移し、売上高は3,946百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は166百万円（同15.3%増）となりました。

ファシリティ関連事業におきましては、エネルギーマネジメント業務及びホテルの運営管理業務が堅調に推移し、売上高は6,547百万円（同7.6%増）となりましたが、ビルマネジメント業務の収益性の低迷により、セグメント利益は155百万円（同29.7%減）となりました。

コンテンツサービス事業におきましては、ホールの運営管理業務が堅調に推移し、売上高は2,076百万円（同9.2%増）、セグメント利益は120百万円（同15.2%増）となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。
なお、当社は財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針は定めておりません。

（3）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	9,125,000	9,125,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	9,125,000	9,125,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	—	9,125,000	—	981,662	—	956,962

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 106,200	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,017,800	90,178	—
単元未満株式	普通株式 1,000	—	—
発行済株式総数	9,125,000	—	—
総株主の議決権	—	90,178	—

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式93株が含まれております。

2. 「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、従業員持株会支援信託E S O Pの信託口である日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する当社株式350,000株（議決権の数3,500個）が含まれております。

②【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社マイスターエンジニアリング	千葉県美浜区中瀬一丁目3番地	106,200	—	106,200	1.16
計	—	106,200	—	106,200	1.16

(注) 上記自己株式には、従業員持株会支援信託E S O Pの信託口である日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する当社株式350,000株（議決権の数3,500個）を含めておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
代表取締役社長	柴田 一郎	平成25年11月29日

(2) 役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
代表取締役会長兼社長	代表取締役会長	菊地 幸雄	平成25年11月30日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,390,406	2,540,710
受取手形及び売掛金	2,655,460	2,250,706
未成工事支出金	383,559	153,132
仕掛品	29,985	28,661
原材料及び貯蔵品	11,423	13,547
その他	264,256	221,369
貸倒引当金	△5,056	△4,216
流動資産合計	5,730,037	5,203,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,092,891	1,109,774
土地	1,115,239	1,100,101
その他（純額）	73,860	85,210
有形固定資産合計	2,281,992	2,295,087
無形固定資産		
のれん	117,696	102,344
その他	39,950	38,146
無形固定資産合計	157,646	140,491
投資その他の資産		
投資有価証券	601,065	657,702
差入保証金	217,120	196,790
破産更生債権等	77,456	73,749
その他	1,142,348	1,141,318
貸倒引当金	△77,456	△73,749
投資その他の資産合計	1,960,533	1,995,810
固定資産合計	4,400,172	4,431,389
資産合計	10,130,210	9,635,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	910,373	565,650
未払法人税等	209,786	20,712
賞与引当金	330,459	161,339
役員賞与引当金	16,000	—
その他	1,205,824	1,053,622
流動負債合計	2,672,443	1,801,325
固定負債		
長期借入金	—	173,600
退職給付引当金	692,861	734,411
役員退職慰労引当金	83,742	89,567
資産除去債務	47,437	52,059
長期預り保証金	110,745	107,150
その他	27,815	26,139
固定負債合計	962,603	1,182,928
負債合計	3,635,046	2,984,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	981,662	981,662
資本剰余金	956,962	958,331
利益剰余金	4,651,067	4,751,987
自己株式	△224,536	△213,703
株主資本合計	6,365,155	6,478,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,062	46,686
その他の包括利益累計額合計	16,062	46,686
少数株主持分	113,945	126,083
純資産合計	6,495,163	6,651,047
負債純資産合計	10,130,210	9,635,302

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,772,587	12,569,988
売上原価	9,919,366	10,599,167
売上総利益	1,853,220	1,970,821
販売費及び一般管理費	1,444,594	1,503,738
営業利益	408,626	467,082
営業外収益		
受取利息	4,723	3,517
受取配当金	2,065	3,038
匿名組合投資利益	14,878	1,239
助成金収入	1,084	—
貸倒引当金戻入額	12,913	5,322
その他	8,052	6,967
営業外収益合計	43,717	20,084
営業外費用		
支払利息	4,042	3,483
持分法による投資損失	532	—
匿名組合投資損失	354	6,738
支払補償費	197	698
支払手数料	—	12,035
その他	1,847	575
営業外費用合計	6,974	23,532
経常利益	445,369	463,635
特別利益		
固定資産売却益	—	2,632
負ののれん発生益	8,348	—
特別利益合計	8,348	2,632
特別損失		
投資有価証券評価損	61,693	—
固定資産除却損	—	594
事務所移転費用	—	10,292
特別損失合計	61,693	10,886
税金等調整前四半期純利益	392,024	455,381
法人税、住民税及び事業税	131,775	144,716
法人税等調整額	58,688	64,265
法人税等合計	190,464	208,982
少数株主損益調整前四半期純利益	201,560	246,399
少数株主利益	16,055	13,698
四半期純利益	185,504	232,700

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,560	246,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,501	30,623
その他の包括利益合計	1,501	30,623
四半期包括利益	203,061	277,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,005	263,324
少数株主に係る四半期包括利益	16,055	13,698

【注記事項】

(追加情報)

(従業員持株会支援信託E S O Pに関する会計処理)

当社は、平成25年8月30日開催の取締役会において、従業員の福利厚生の充実及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「従業員持株会支援信託E S O P」の導入を決議いたしました。

この導入に伴い、平成25年9月25日付で日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)(以下「信託口」という。)が当社株式350,000株を取得しております。

当該従業員持株会支援信託E S O Pに関する会計処理については、経済的実態を重視し、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っております。したがって、信託口の資産及び負債ならびに収益及び費用については、四半期連結貸借対照表及び四半期連結損益計算書に含めて計上しております。また、信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末現在において、信託口が所有する当社株式数は325,400株であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	87,652千円	83,422千円
のれん償却額	29,910	15,351

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	91,187	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	45,593	5.00	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	86,687	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年10月30日 取締役会	普通株式	45,093	5.00	平成25年9月30日	平成25年12月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	メカトロ 関連事業	ファシリティ 関連事業	コンテンツ サービス事業	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	3,786,060	6,084,691	1,901,836	11,772,587
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	726	736	1,462
計	3,786,060	6,085,417	1,902,572	11,774,050
セグメント利益	144,537	221,601	104,554	470,692

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	470,692
のれん償却額	△29,910
全社費用等（注）	△32,156
四半期連結損益計算書の営業利益	408,626

(注) 主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	メカトロ 関連事業	ファシリティ 関連事業	コンテンツ サービス事業	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	3,946,478	6,547,348	2,076,161	12,569,988
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	621	571	1,192
計	3,946,478	6,547,969	2,076,733	12,571,180
セグメント利益	166,665	155,873	120,457	442,995

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	442,995
のれん償却額	△15,351
全社費用等（注）	39,438
四半期連結損益計算書の営業利益	467,082

(注) 主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	20円34銭	26円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	185,504	232,700
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	185,504	232,700
普通株式の期中平均株式数 (株)	9,118,707	8,671,018

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・45,093千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成25年12月6日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

株式会社マイスターエンジニアリング

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秋山 賢一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 芳宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マイスターエンジニアリングの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マイスターエンジニアリング及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。